

座長

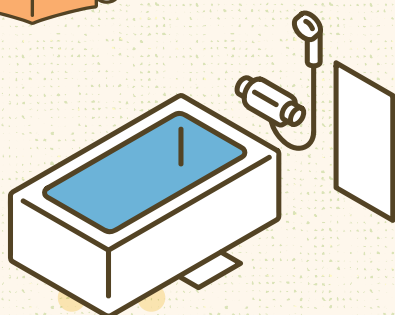
福地 健郎 先生

新潟大学

日本緑内障学会による緑内障診療ガイドラインの最新版は第5版ですが、第3版から第4版に改訂された際に、「緑内障治療の目的は、視覚の質(QOV)とそれに伴う生活の質(QOL)を維持することである」と明記されました。第3版までの「患者の視機能を維持することである」と、意図するところは同じですが、より患者の立場からの視点という意味でも大きな変更だと思えます。緑内障の症状は分かりにくい、しかし症状として自覚のない時期から様々なQOLが障害されていることが分かってきました。緑内障による視覚機能の障害と、それに伴うQOLの障害をどのように評価すればよいのか、その情報を日常診療の場でのように生かせばよいのかについて、このセミナーを通して皆様とともに学びたいと思います。

第13回
日本視野画像
学会学術集会
ランチョンセミナー3

生活と 緑内障 治療の 融合 : FUSION



溝上 志郎 先生
愛媛大学



福地 健郎 先生
新潟大学

講演
1

緑内障患者の
視野の謎

講演
2

緑内障患者の
QOLを守る

2024

6/2 日

12:35 - 13:25

第1会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
4F マリンホール

〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1 TEL 025-246-8400

整理券(お弁当引換券)オンライン予約を実施いたします。

当日参加も可ですが、数に限りがありますので事前予約をお勧めします。

※整理券はセミナー開始10分後、無効となります。